
第7回都市基盤整備分科会

2006年4月24日

1. 議事次第

■ 分科会は合計2時間で行います

次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認
3 話し合い	90分	
4 とりまとめ	10分	
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

2. 本日の分科会の目標

- 第1回から第6回までに議論した内容を振り返ってみます
- 第2回全体会での議論を共有します
- 今後の進め方(施策・事業の立案)を確認します
- 施策の検討を行ってみます

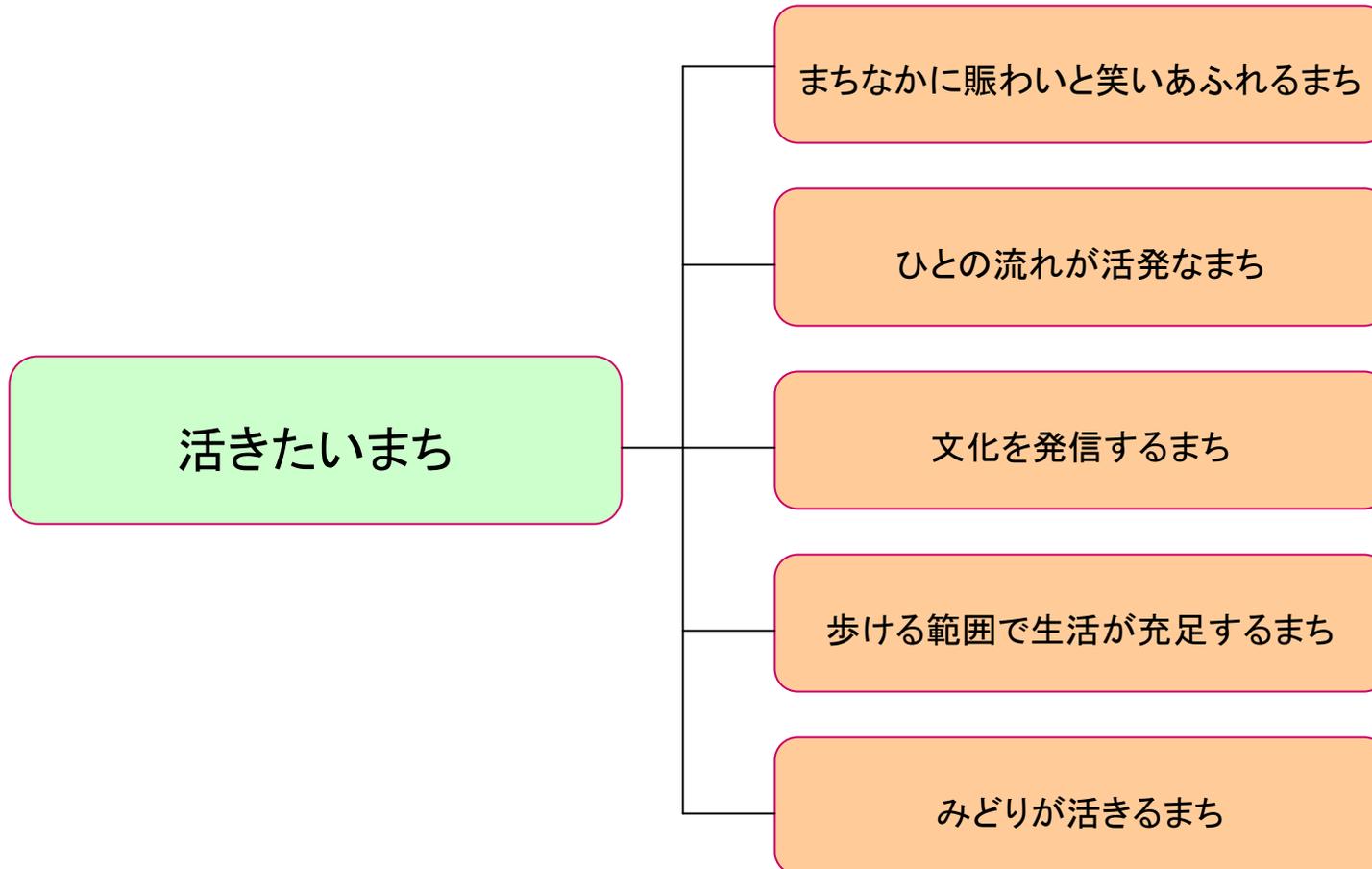
3. これまでの議論の確認

都市づくり(都市基盤整備)の基本理念(第5回分科会)

これから15年後に向けての宇都宮市の都市づくり(都市基盤整備)の基本理念と方向

めざす都市像

都市基盤整備の基本方向



3. これまでの議論の確認

都市基盤分野の重点課題(第6回分科会検討結果)

課題	背景・理由	やるべきこと
JR駅周辺と東武駅周辺のまちの顔の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●市外からの玄関として重要であり、まちとしての風格に大きく影響する。 ●中心市街地の活性化が求められている。 ●観光客への魅力づけが求められており、まちの顔として対外的に発信する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●西口駅前広場の景観、構造、動線の見直し(田川まで含めて) ●オリオン通りの再生 ●ばんばの復活、笑いを提供する舞台の整備
楽しく乗れる公共交通への再編	<ul style="list-style-type: none"> ●バスのサービス水準が悪く、魅力がないため、利用するための動機付けが中々働かない。 ●後期高齢者が増加し、公共交通の利便性向上が求められている。 ●バス・鉄道利用者が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●JR新駅の検討、JRと東武の乗換駅の新設検討 ●LRT等の検討(是非も含めて) ●バスサービスの改善(エリア料金制、乗換割引、接客の改善、など)
地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●既存樹木の再生は不可能となりつつあり、再度見直す必要がある。 ●歴史資源の活用、PRを行う事により、まちの魅力を向上させる必要がある。また、そのために、資源を再発見する等の教育が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●八幡山公園の再整備 ●蔵のまちの形成 ●大谷の観光地としての再生 ●釜川周辺の再整備
魅力ある生活拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の顔の形成が求められている。 ●地域生活の中心核が確立されていない。 ●市町村合併をにらんで生活拠点の充実・整備が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●東、西、南、北拠点の整備
(市民生活におけるITの積極的活用)	<ul style="list-style-type: none"> ●長寿社会におけるニーズに応じたサービスの提供が求められている。 <p>* ITについては基盤整備の時代は終わり活用推進が課題。都市基盤分野で1項目として取り上げる意味は薄い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域情報の発信 ●教育、文化での活用

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ① 検討の流れ

施策・事業は以下の流れで検討します

< 施策・事業の検討手順 >

Step 1.

重点課題を解決するための
施策目標を検討する

Step 2.

施策目標を実現するための
施策(手段)を検討する

Step 3.

施策(手段)を支える具
体的な方法(事業)を検
討する

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 (2) 施策目標の検討

➤ 施策目標とは、「①課題分野の行政サービスの対象となる顧客や利害関係者が明確」にされており、「②施策からどのような成果が期待されるか」を示したものと考えられます。

1 地域の当該分野において

2 5年後にどのような状態になってもらうために

3 何に対して重点的に取り組むのか

→以上3つの項目(考え方)が含まれていることが必要となります

各分野における施策目標は以下の流れで検討します

<都市像の検討フロー>

Step 1.

課題分野の施策・事業の利害関係者を具体的かつ網羅的に想定する

Step 2.

利害関係者にどのような状態になってほしいのかを想定する

Step 3.

その状態になってもらうために、どのようなサービスや価値を提供するかを検討する

Step 4.

類似の顧客及び提供サービス・価値のグルーピング・重点化を行う

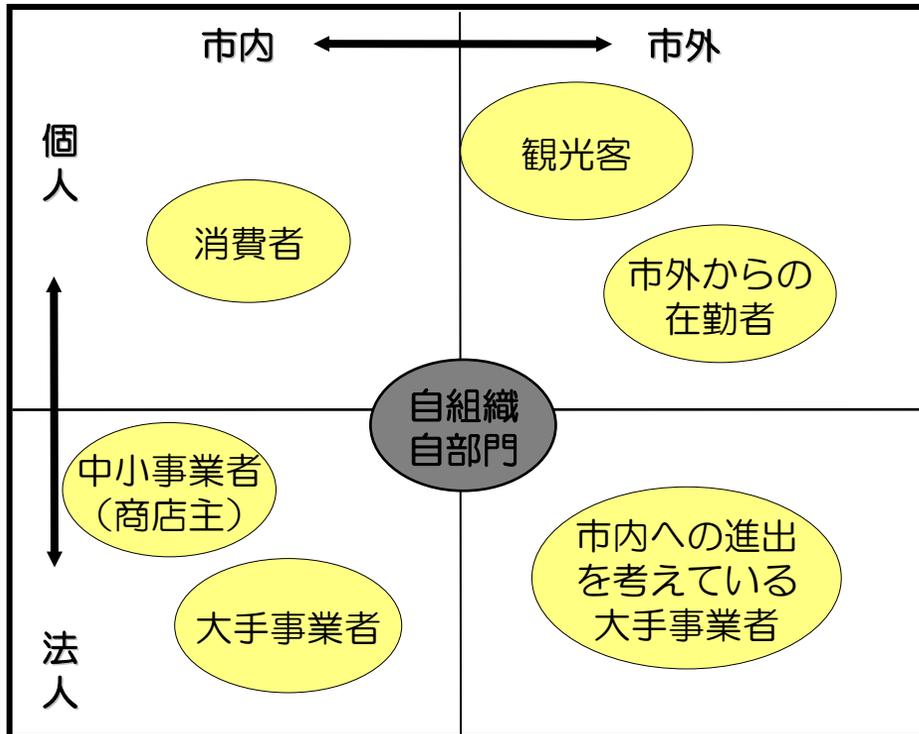
Step 5.

施策目標として記述する

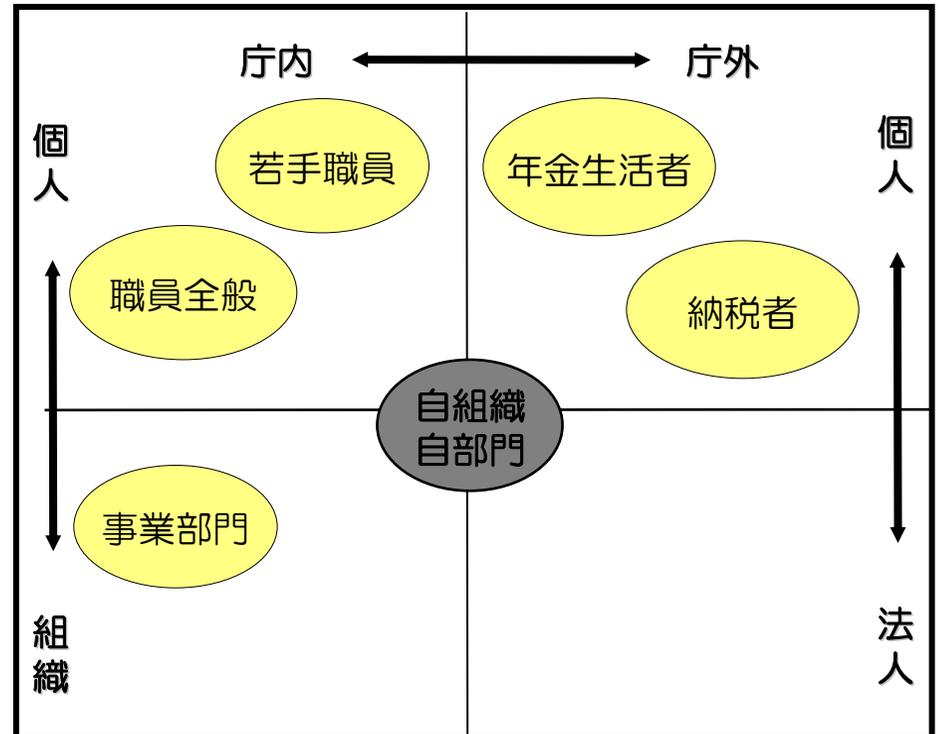
4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 (2) 施策目標の検討

- ▶ **Step1:** 全ての利害関係者(自部門の行政活動に関連するステークホルダー)を網羅的にあげます
- ▶ 行政サービスの対象となる顧客や、事業領域における関係者をまず全てあげてみます。
 - ▶ 「市民」といった一般的な対象にとどまらず、「子育て世代の夫婦」「一人暮らしの高齢者」など、具体的な関係者を設定してみます

利害関係者の設定例 (産業振興分野の例)



利害関係者の設定例 (管理部門の例)



4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ② 施策目標の検討

▶ Step2: それぞれの利害関係者にどのような状態になってほしいのかを記述します

- ▶ 自らの行政サービス活動を通じて、彼らにいったいどのような状態になって欲しいのか？を改めて考えてみます

利害関係者と彼らになって欲しい状態の設定例(産業振興分野の例)

利害関係者	市内消費者	市内 中小企業	大学等 研究機関	在勤者	来訪者・観 光客	...
なって欲しい状態	多様で高度な購買ニーズが満たされている状態	事業が継続的に維持・発展されている状態	大学の持つ技術がビジネス化されている状態	高度な購買ニーズが満たされている状態	商店街・専門店街が活性化された状態	...

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 (2) 施策目標の検討

▶ **Step3:**それぞれの利害関係者に提供するサービスや提供価値を記述します

▶ 彼らに“なっ**て**ほしい状態”を実現するために、どのような行政サービスや価値を提供しなければならないかを検討します

利害関係者と彼らになっ**て**欲しい状態の設定例（産業振興分野の例）

利害関係者	市内消費者	市内 中小企業	大学等 研究機関	在勤者	来訪者・観光 客	...
なっ て 欲しい 状態	多様で高度な 購買ニーズが 満たされてい る状態	事業が継続的 に維持・発展 されている状 態	大学の持つ技 術がビジネス 化されている 状態	高度な購買 ニーズが満た されている状 態	商店街・専門 店街が活性化 された状態	...

提供すべき
行政サービス
・提供価値

消費者の多
様で高度な
選択に応え
る店舗・商
店街づくり
の支援

区内外の企
業との産学
連携

経営基盤確
立のための
支援

消費者の多
様で高度な
選択に応え
る店舗・商
店街づくり
の支援

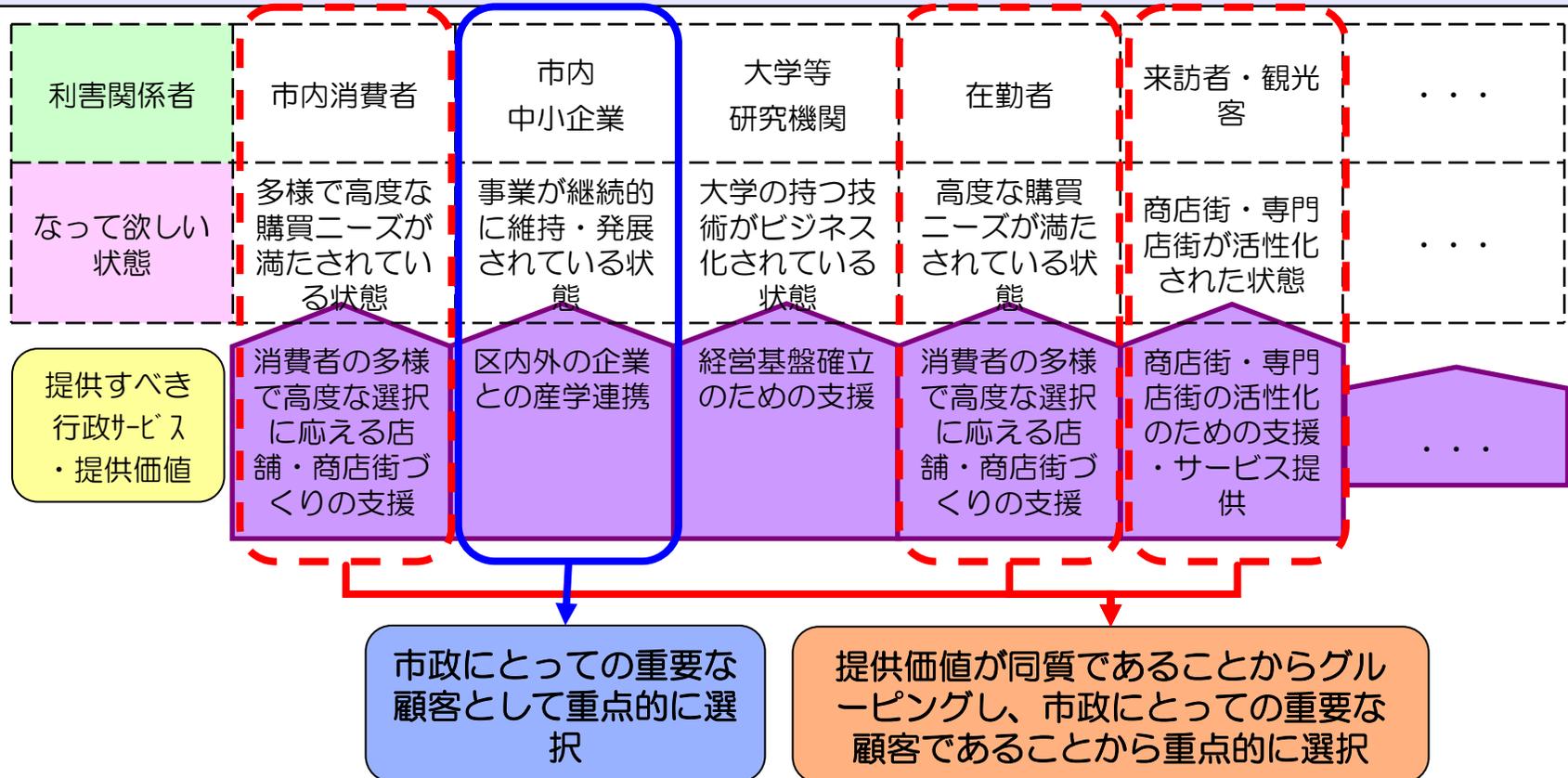
商店街・専
門店街の活
性化のため
の支援・サ
ービス提供

...

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ② 施策目標の検討

Step4: 重要となる利害関係者および彼らへの提供価値を重点化します

- ▶ 列挙した利害関係者から、戦略上重要な利害関係者を重点化する。もしくは、利害関係者へに提供する価値の同質性から利害関係者等をグルーピングした上で、重点化を図ります。
- ▶ 絞込みは、ミッションを踏まえてどの利害関係者に注力しなければならないのか、どの利害関係者に対して自部門の強みが発揮できるか、という観点で行います。



4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ② 施策目標の検討

▶Step5: 施策目標として記述する⇒施策目標では以下の3つがわかるように記述を行います

- ▶ 1. 「誰に対して」…重点化した利害関係者
- ▶ 2. 「どのような状態になってほしいか」…目指すべき状態を定義する
- ▶ 3. 「そのためにどのような価値を提供するか」…状態を実現するための提供価値・サービスを記述

施策目標の記述例 – 「誰が、どういう状態になるために、どのような価値を提供する」という上記1、2、3の順での記述例

地域内外の一般消費者が、
多様で高度なニーズを満たせるよう
地域内商店街・専門店街の活性化支
援サービスを行う

地域内中小企業が、
事業を維持・発展させるために、
経営基盤強化の支援サービス
を行う



4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ③ 施策(手段)の検討

施策(手段)は以下の流れで検討します

< 施策の検討手順 >

Step1.

施策目標を達成するための手段を検討する

Step2.

特に重要な手段に絞り込む

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ③ 施策(手段)の検討

➡ 施策とは「施策目標を達成するために重要と考えられる手段・方策」を指す

▶ 抽象的ではなく、より具体的であること

▶ 目標達成への効果が高い手段・方策であること

▶ 日常的なタスクではなく、重点的に取り組むべき方向性を示すものであること

▶ 他の施策と比べた時に、より重要であり優先的に取り組む必要のあるもの

といった視点から重点化し、選択していきます。

施策目標に対する施策の設定例(産業振興分野の例)

施策目標	地域内中小企業が事業を維持発展させるために、経営基盤強化の支援サービスを行う
施策	1. 中小企業の情報リテラシー向上支援 2. 資金調達をはじめとする経営資源の確保支援 3. 中小企業経営トップの能力開発・人材育成支援

注) 施策・事業の検討方法は、現時点での「案」であり、各分科会において具体的な進め方は柔軟に対応する。

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ④ 事業の検討

▶ 事業とは「施策を支える具体的な“具体的な”手段・方策」を指す

▶ 目標達成への効果が高い手段・方策であること

▶ 日常的なタスクにつながる具体性の高い手段・方策であること

▶ 他の事業と比べたときに、より重要であり優先的に取り組む必要のあるもの

といった視点から重点化し、選択していきます。

施策に対する事業の設定例(産業振興分野の例)

施策	中小企業経営トップの能力開発・人材育成支援
事業	経営者セミナーの開催 (企業マネジメントノウハウ、財務分析等のスキルや経営者同士のネットワーク構築を行う)

注) 施策・事業の検討方法は、現時点での「案」であり、全体会・分科会において具体的な進め方は柔軟に対応する。

4. 今後の進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ⑤ 検討結果イメージ

施策目標	施策	事業
<p>地域内中小企業が事業を維持発展させるために、経営基盤強化の支援サービスの実施</p> <p>地域内外の消費者が多様なニーズを満たせるように、地域内商店街・専門店街の活性化を図る</p>	<p>中小企業の情報リテラシー向上支援</p> <p>資金調達をはじめとする経営資源の確保支援</p> <p>中小企業経営トップの能力開発・人材育成支援</p> <p>...</p> <p>...</p>	

4. 今後の進め方の確認 (2)指標設定

各部会で検討される基本施策ごとに指標を設定する。

3. 健康で幸せなまちづくり

<基本施策>

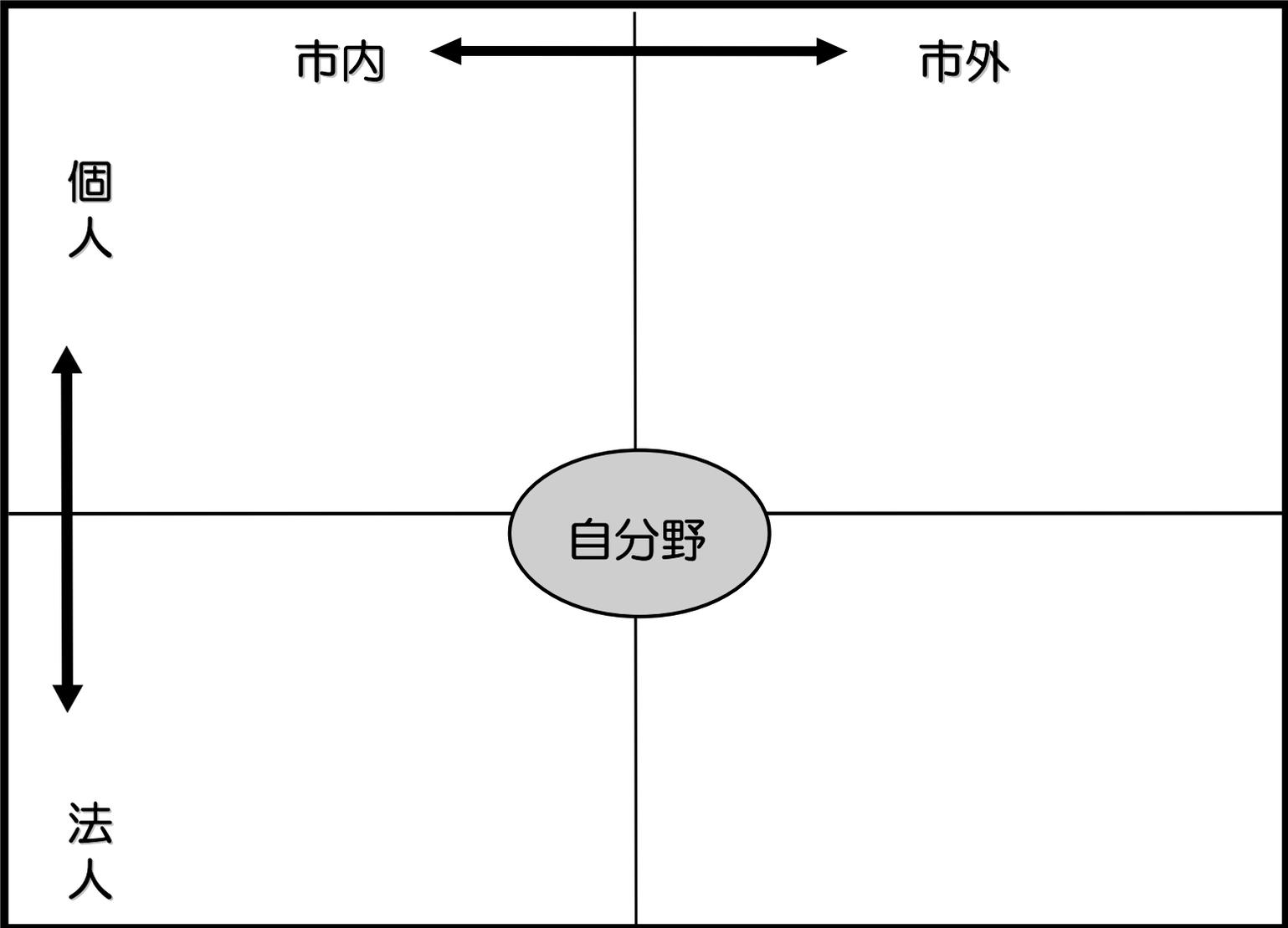
- 保健・医療を充実する
- 地域福祉を推進する
- 高齢者福祉を充実する
- 障害者福祉を充実する
- 児童福祉を充実する
- 社会保障を充実する
- 消費生活の向上を図る

<指標例>

- 保育所待機児童数●●%減
- 「宇都宮市で子育てをしたいと思う人」の割合●●%

注)上記は第4次総合計画改定基本計画の柱・基本施策を例にしている。

5. 本日の検討内容 施策の検討 ①利害関係者の抽出



5. 本日の検討内容 施策の検討 ②理想の状態・サービス・価値の検討

利害関係者						
なって欲しい状態						
提供すべき行政サービス ・提供価値						

【スケジュール】

4月以降は、以下のようなスケジュールで検討を進める。

時 期	検 討 項 目
2005年10月	●自己紹介 ●進行方針の決定
11月	●SWOT分析の実施(強み・弱みの検討)
12月	●SWOT分析の実施(機会・脅威の検討)
2006年1月	●SWOTクロス分析の実施(重点課題の抽出)
2月	●SWOTクロス分析の実施(重点課題の抽出)
3月	●SWOTクロス分析を用いた重点課題の絞込み
4月19日(本日)	●全体会(各分科会の検討結果報告)
4月～8月	●施策・事業の提案(主要なものについて絞って提案)
9月	●施策・事業提案発表会
9月～12月	●テーマ分野における指標案の検討
1月～3月	●成果報告書の作成